

# 危険業務従事者叙勲

## 瑞宝双光章（防衛功労）

元1等陸尉 井関<sup>よしき</sup>芳樹 さん(61) = 静内緑町



井関さんは、昭和51年に陸上自衛官として自衛隊に入隊し、2年間の真駒内勤務以外を静内駐屯地で勤務され、平成26年に定年退職するまでの間、短SAM射撃小隊長や駐屯地広報などの要職を歴任されました。

「駐屯地記念行事の実射訓練展示において、射撃直前に射撃装置の調子が悪くなり、観客が見守る中、何とか射撃が成功し安堵したことや、平成17年のイラク復興支援では最終派遣部隊として訓練を重ねましたが、出発直前に中止になったことなどを思い出します。部隊の仲間や同僚、家族の協力により職務を全うできたことに感謝しています」と語りました。

## 瑞宝双光章（防衛功労）

元1等陸尉 宍戸<sup>さとる</sup>智 さん(61) = 静内中野町



宍戸さんは、昭和53年に陸上自衛官として自衛隊に入隊し、千歳や旭川での勤務の5年間以外は静内駐屯地で勤務され、平成26年に定年退職するまでの間、短SAM射撃小隊長や情報小隊長などの要職を歴任されました。

「射撃小隊長として臨んだ対空実射訓練では、小隊の仲間たちと数か月にわたる訓練の中で多くの汗をかき、訓練の最後に射撃が成功し安堵したことなどを思い出します。今回の受章は、上司や先輩の指導、同僚や後輩の協力があったからこそその受章であり、家族の支えにも感謝しています」と語りました。

## 瑞宝単光章（消防功労）

元日高中部消防組合 消防司令 酒井<sup>つよし</sup>強志 さん(67) = 静内緑町



酒井さんは、昭和51年に日高中部消防組合消防士に採用され、以来、平成26年に日高中部消防組合消防司令として定年退職するまでの38年の長きにわたり消防業務に精励し、災害発生時には消化防災の指揮に当たり被害を最小限に防止したほか、消防体制の充実強化に尽力されました。

「平成7年の米子組の火災ではタンク車を運転し現地に向かい消火活動に当たったことや、東日本大震災では現地で行方不明者の捜索を行ったことを思い出します。団員の皆さん、先輩や後輩の皆さんにご協力いただき38年間務めることができ感謝しています」と語りました。